多高通信

第214号　令和5年8月29日発行

さとく　ゆたかに　たくましく
宮城県多賀城高等学校

災害科学科
「防災キャンプ」に参加！

7月29日(土)に、「さんみらい多賀城イベントプラザSPET」で小学生に対して、多賀城高校の災害科学科の生徒が防災・災害に関する基礎的な授業を行いました。また、避難所設営の段ボールテント実習も行い、年齢の枠を超えて防災について考える良い機会となりました。

スーパーサイエンスハイスクール
「生徒研究発表会」参加！

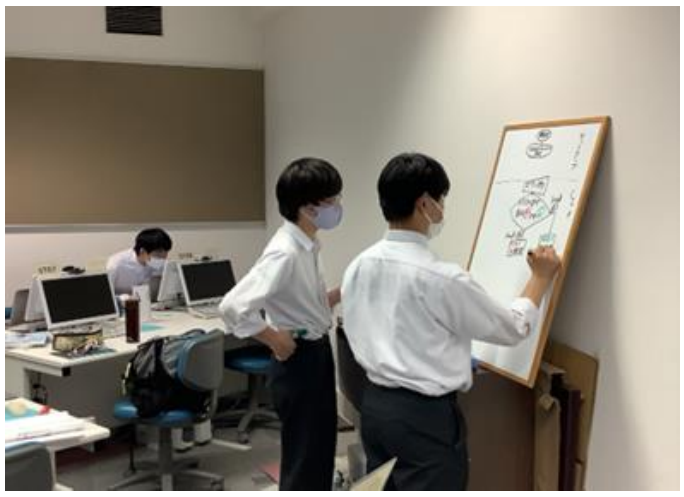
8月9・10日に生徒研究発表会が、兵庫県神戸市の神戸国際展示場において盛大に開催されました。本校からは、災害科学科3年生2名、2年生4名が参加し、「都市型津波の脅威と影響」の発表題で研究発表を行いました。惜しくも入賞することはできませんでしたが、審査員の先生方からの高評価と、有益なアドバイスを受けることが出来ました。1年以上かけて研究してきた成果を発表する貴重な機会になるとともに、全国の高校生が持つ研究への熱意と、知的探究心の高さを目の当たりにし、大いに刺激を受けて来ました。発表者を務めた3年生は、研究のノウハウと、感じた課題を後輩に引き継いでくれるでしょう。

兵庫県高等学校防災Jrリーダー
交流会・まち歩き

8月18日に、兵庫県の高校生防災Jrリーダー研修に参加している生徒57名が来校しました。交流会では、防災系専門学科のある舞子高校の取組紹介と本校の課題研究発表を行い互いの活動内容を共有しました。また、本校の伝災活動の「津波伝承まち歩き」を災害科学科と生徒会執行部の案内で実施しました。震災からの教訓を伝える活動意義を感じる実りのある交流となりました。

情報処理部活動紹介

情報処理部では主にP検定合格や、プログラミング言語習得を目指す学習を行っています。この2班に分かれ、自分が必要とするスキルを選択し学習する方針を取っています。また、山形大学がシリコンバレーと提携し、エンジニアからオンラインで直接プログラミングを学ぶと共に、山形大学のデータサイエンスプログラムを取り入れることで、より実践的に最先端の技術を習得するスクールです。これからも拡がるであろうIT人材の不足を見据えたプロジェクトであり、修了者には、修了証書が授与されます。わが校も、応募対象に普通高校が含まれた初年度に参加し優秀賞を獲るなど、活躍を見せています。



吹奏楽部
吹奏楽コンクール東北大会へ！

■副部長　2年2組　船木　はるか(東仙台中出身)

8月3日にマルホンまきあーとテラスにて行われた全日本吹奏楽コンクール宮城県大会で金賞を受賞し、東北大会出場への推薦をいただきました。多賀城高校らしい演奏をすることが出来て部員一同心から嬉しく思っております。応援していただいた皆様に心から感謝申し上げます。

また、7月24日に東北大学百周年記念会館川内萩ホールにて、第1回宮城県多賀城高等学校吹奏楽部東海大学菅生高等学校吹奏楽部ジョイントコンサートを開催しました。コンクールが近い中での演奏会でしたが、お互いの演奏を客観的に聞くことでいい刺激になったと感じています。演奏面、運営面を勉強させて頂き、コンクールへの意欲がさらに増した良い日となりました。ずっと目標にしていた東海大学菅生高等学校吹奏楽部の皆さんと共演することができ、練習のモチベーションにつながりました。演奏会開催にあたりまして東海大学菅生高等学校吹奏楽部の皆様、保護者様、ご来場の皆様、本当にありがとうございました。これからの東北大会に向けて、今年こそ全国大会に出場できるよう悔いのない夏を過ごすために練習に励んで行きたいです。今後の活動の応援もよろしくお願いいたします。

東海大学菅生高校との合同演奏

多賀城高校単独演奏